NO. 2011. 13 号
発行日：2011 年 8 月 24 日

検査のパレット

今回から、安静標準 12 誘導心電図（以下安静心電図）について 3 回に分けてお話します。当院で実施している心電図検査は、安静心電図、負荷心電図（マスター2 階段運動法とトレッドミル法）、ホルター心電図およびモニタ心電図があります。

１回目は、安静心電図検査を実施する時の電極取り付けまでについてお話します。
安静心電図検査は、休日・夜間・緊急時には看護師さんにも実施してもらっていますので、参考にしてみて下さい。現在、院内にある心電計は４台で、生理検査室、中央処置室、５階病棟および６階病棟に設置してあり、どの心電計も使用方法は同じです。

１）心電計にセットしてある物を表記しますので確認しましょう。
- ＊ 心電計(FCP-5000)取扱説明書（裏面に電極位置が表示）
- ＊ 患者 ID･氏名・検査担当者氏名・電カル看護師コード No を記入する用紙
- ＊ ケラチンクリーム
- ＊ 箱ティッシュ
- ＊ 吸着電極の予備３個
  （心電計の手前のかごの中に、下記紙テープと共にあります）
- ＊ 紙テープ（吸着電極が付かない場合、固定用に使用して下さい）

心電図検査

外来 （ 内科 ・ 外科 ）
病棟（ 4F・5F・6F・7F・8F ）

患者 ID
患者氏名

検査日時 月 日 時

《検査担当者》

氏名

２）心電計は患者様の左手側に設置しましょう。
（胸部電極の取り付けが簡単にできます）

３）電源コードをコンセントに接続し、心電計の電源を入れましょう。
（操作パネルの赤丸３箇所〔被検者Ａ・自動・フィルタ〕が点灯している事を確認して下さい）

４）患者様が、壁やベッドの柵に接触していない事を確認しましょう。
（筋電図混入の原因となります）

５）電極取り付け後、交流障害がみられる場合は以下の方法で対応しましょう。
- ① 電気製品からの交流障害が考えられる場合は、電源コードをコンセントから抜いてみましょう（ただし、生命維持装置などは抜かないで下さい）
- ② それでも、全誘導に交流障害がある場合、上記３）の フィルタ スイッチが、点灯している事を再度確認して下さい（手や物があたって、消灯する事があります）

それでは、電極を取り付けましょう。
次回は四肢誘導の電極の取り付け方法についてお話します。

文責：藤谷　恵子　　監修：石竹　久仁